

コード	304010302
記入日	H25.6.4

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	一時保育補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040103	事務事業名称	民間保育所運営費補助事業費	細目コード	256
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町民間保育所運営費補助金交付要綱	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 民間保育園 (対象2)		(対象指標1) 実施保育園数 5箇所 (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・一時保育事業を行っている保育園（桐保育園、青葉保育園、白菊保育園、つばみ幼児園、福見保育園）に対して補助を行った。	***** 実施保育園数	***** 5箇所	***** 100%	***** 実施保育園数÷ 申請保育園数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	申請があった全保育園に補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・パートや臨時的な仕事、急な病気や怪我、看護等で保育ができない場合、また、保護者の育児疲れ等で保育が困難になったとき一時的に保育し、保護者の負担軽減を図ることを目的としている。		***** 利用人数	***** 900人	***** 100%	***** 利用登録者数÷ 利用申請者数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	申請者の受け入れを完全実施した。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 箇所	33	33	28	5	5					
	②										
成果指標	① 人	5,644	5,644	4,744	900	900					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	8,916	8,916	8,016	900	900					
直接事業費 A	千円	8,916	8,916	8,016	900	900					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円	2,894	2,894	2,894						
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	6,022	6,022	5,122	900	900					

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	子育て支援事業として行う必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	依然として多くの方が利用しており、成果は十分にある。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	昨年度に補助額を見直し、事業の効率化を図った。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	補助額を見直し、効率化が図られた。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	昨年度に見直しを行った。	

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	補助額の見直しを図った。
	今後、課題に向けた改善策	よりニーズに沿った事業を展開し、園の経営を圧迫しないようにする必要がある。

2 次 評 価	社会構造の変化により一次保育事業のニーズは高い状況である。今後も住民への制度周知を図り、保護者の負担軽減に努めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。